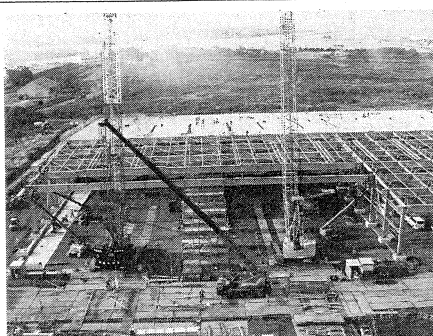


九州バイオマス燃料保管建屋

システム建築で 過去最長スパン

JFEシビル

JFEシビル(藤井善英社長)が受注していたバイオマス発電燃料を保管するためのストックヤード建物上屋の工事が今月竣工した。システム建築事業部が請け負った案件



過去最長スパンの構造物

完成した建屋規模は、縦18・9m、横82・8m、63mの大梁(BH1200×400)を36本使用している。柱のない6つの大

で、同社のシステム建築としては過去最長スパンの構造物となる。

九州地区の火力発電所で、バイオマス発電のために建設した。ヤードは、燃料の積み込み・搬送に使用する重機が、建屋の中を自由に動く必要があるため、大スパン構造が求められていた。

空間(縦63m、横41・4m)を6エリア確保した。

63mの大梁は地組みし、200tと120tの2台のクローラークレーンで相吊りし上架した。大スパン構造の精度管理は非常に難易度が高く、高い技術が求められた。